

東北地方 1 か月予報

(3 月 1 7 日から 4 月 1 6 日までの天候見通し)

平成 1 9 年 3 月 1 6 日
仙台管区气象台発表

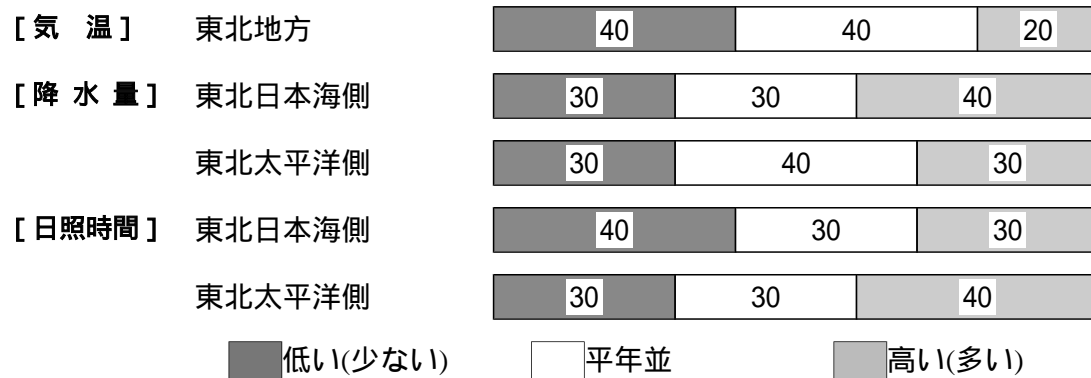
< 特に注意を要する事項 >

期間の前半は気温の変動が大きく、1 週目はかなり低く、2 週目はかなり高くなる見込みです。

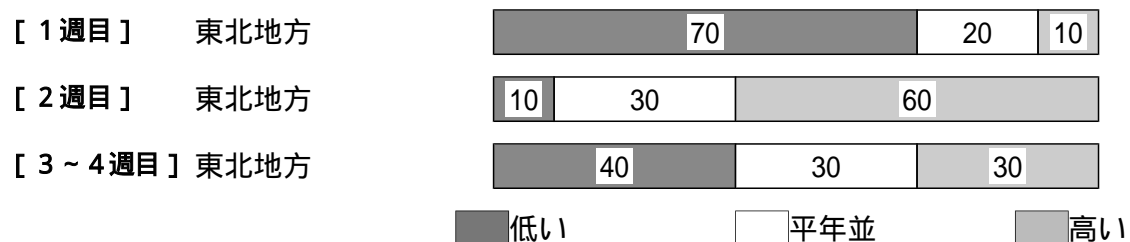
< 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側では平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。おそ霜に注意して下さい。
向こう 1 か月の平均気温は、平年並または低い確率がともに 4 0 % です。
週別の気温は、1 週目は低い確率が 7 0 % で、2 週目は高い確率が 6 0 % です。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 3 月 1 7 日 (土) ~ 4 月 1 6 日 (月)
1 週目 : 3 月 1 7 日 (土) ~ 3 月 2 3 日 (金)
2 週目 : 3 月 2 4 日 (土) ~ 3 月 3 0 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 3 月 3 1 日 (土) ~ 4 月 1 3 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 3 月 2 3 日
3 か月予報 : 3 月 2 2 日 (木) 1 4 時

< 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	4.9	64.4	173.3	2.5	3.7	6.1
深浦	5.5	91.5	158.1	3.0	4.3	6.7
むつ	4.3	79.7	180.0	1.8	3.1	5.5
八戸	5.2	56.0	187.7	2.7	4.1	6.5
秋田	6.2	107.3	166.0	3.7	5.0	7.5
盛岡	5.0	91.6	172.0	2.3	3.7	6.3
大船渡	6.1	123.7	173.5	3.8	5.0	7.3
宮古	5.8	98.6	188.5	3.4	4.6	7.0
仙台	7.2	90.5	188.5	4.9	6.0	8.3
石巻	6.4	86.2	192.7	4.1	5.3	7.5
山形	6.3	68.1	165.1	3.5	4.9	7.6
新庄	4.7	107.8	137.9	2.4	3.4	5.9
酒田	7.0	105.3	156.8	4.6	5.8	8.1
福島	7.9	84.2	185.4	5.3	6.6	9.1
若松	6.3	69.2	158.9	3.5	4.9	7.6
白河	6.5	96.0	183.5	4.0	5.2	7.8
小名浜	8.5	129.1	185.9	6.5	7.5	9.5

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.2 ～ +0.4	86 ～ 111	96 ～ 105
東北日本海側	-0.2 ～ +0.4	88 ～ 107	95 ～ 105
東北太平洋側	-0.2 ～ +0.4	82 ～ 115	97 ～ 105

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.5 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.6	-0.4 ～ +0.5
東北日本海側	-0.5 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.5
東北太平洋側	-0.5 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.6	-0.3 ～ +0.5

< 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 3 3 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 1 0 % 以下や 6 0 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 3 0 % 、 4 0 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 19 年 3 月 16 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (3 月 17 日～4 月 16 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。なお、1 週目は平年よりかなり気温が低く、2 週目は平年よりかなり気温が高いでしょう。おそ霜に注意して下さい。

平均気温は平面並または低い確率がともに 40%です。

1 週目 (3 月 17 日～3 月 23 日) :

東北日本海側では期間の中頃まで寒気や気圧の谷の影響で雪が降りますが、期間の終わりは高気圧に覆われて晴れる日があるでしょう。東北太平洋側は沿岸部を中心に概ね晴れる見込みです。

平均気温は低い確率が 70%です。

2 週目 (3 月 24 日～3 月 30 日) :

天気は数日の周期で変わり、日本海低気圧の影響で、東北地方では平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高い確率が 60%です。

3～4 週目 (3 月 31 日～4 月 13 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。低気圧の通過後は、一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

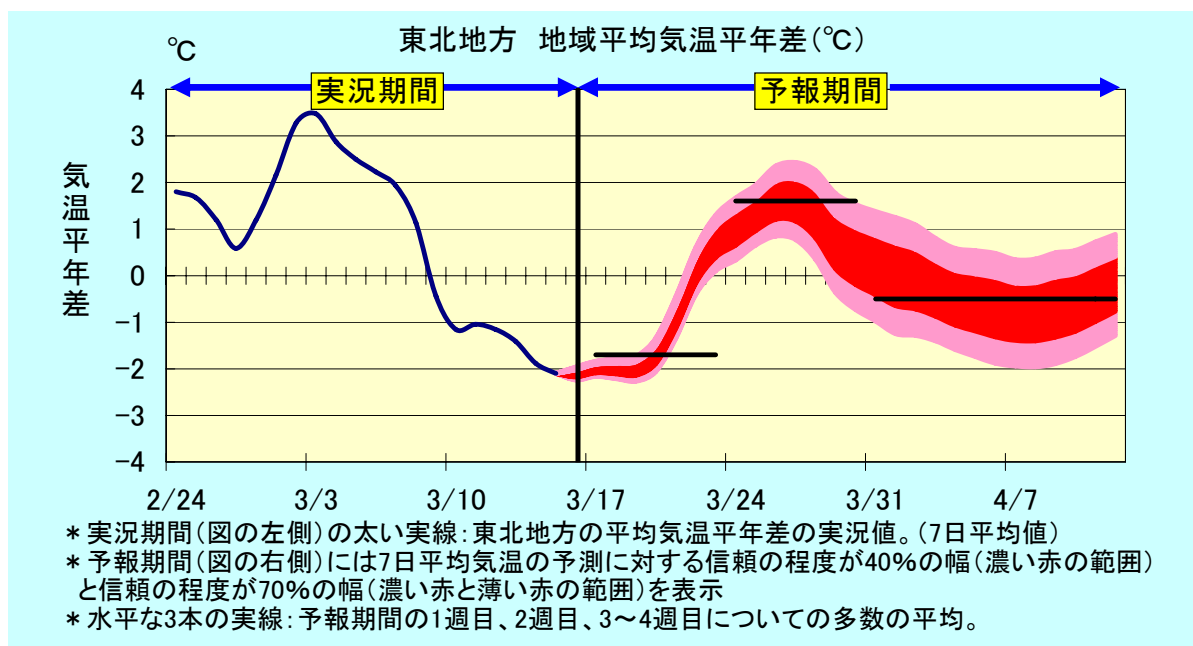
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	14.3 日	3.3 日	3.6 日	7.4 日
東北太平洋側	17.3 日	4.4 日	4.4 日	8.5 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目は平年を下回り、2 週目は平年を上回る。3～4 週目は平年並付近の予想となっている。なお、数値予報の信頼度は大きい。

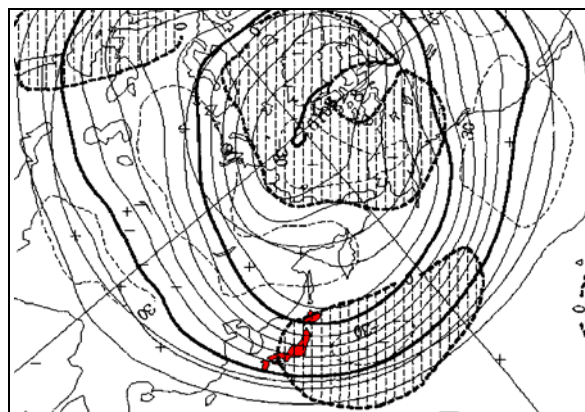


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

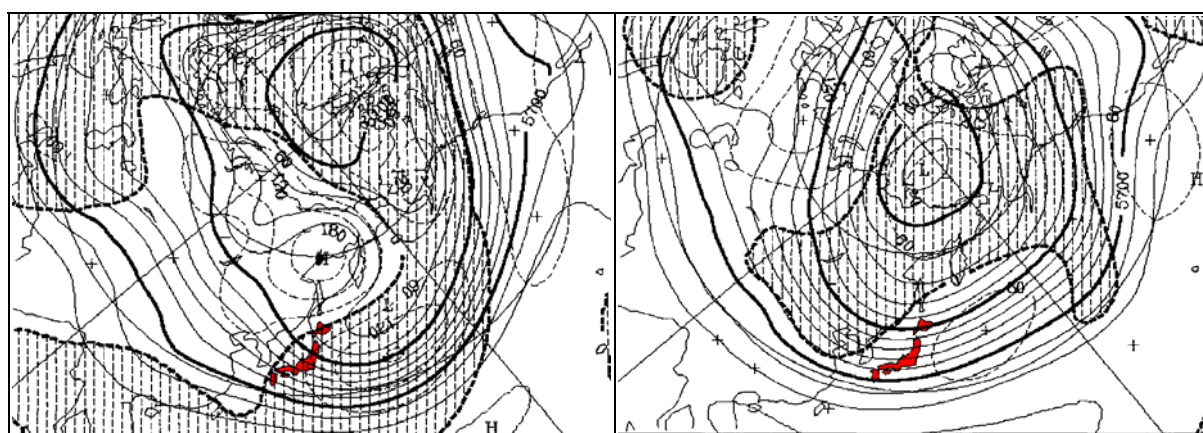
1か月平均：極渦は高緯度にまとまり、中緯度は概ね正偏差だが、日本の東海上には負偏差域が広がる。

1週目：オホーツク海の北部に中心を持つブロッキング高気圧を含む正偏差域が大陸方面に広がる。一方、日本付近は東海上に中心を持つ負偏差域に覆われる。このため、冬型の気圧配置が続いて、日本付近には寒気が南下しやすい。

2週目：1週目に見られたブロッキング高気圧は急速に解消する。日本付近は東海上を中心とする正偏差域に覆われる。一方、中国北部から高緯度域では負偏差が広がっている。日本付近では低気圧が発達しやすく、気温は高めが予想される。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

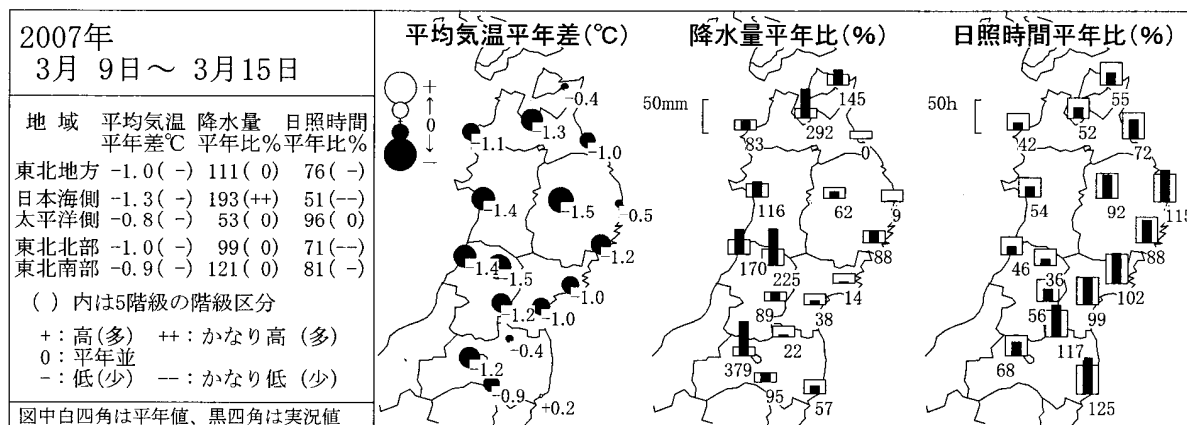
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（3月9日～3月15日）の天候の経過

この期間、10日に移動性高気圧が東海上に去った後、11日に二つ玉低気圧が東北地方に接近・通過した後は冬型の気圧配置となったため各地で強風やまとまった降雪があり、東北太平洋側でも積雪となった。また、気温の低い状態が持続した。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）